



自然



左京区 基本計画

第3期

2021 ▶ 2025

文化



ひと



京都市長

門川 大作

参加と協働による持続可能なまちづくりを

「市民・区民が主役のまちづくり」

私は市長就任以来、この方針を軸に市政に邁進してまいりました。そして、未曾有のコロナ禍の中、改めてこの言葉の大切さを噛み締めています。

コロナ危機と、収支不均衡の構造が続いてきたことによる財政危機。本市は現在、そのような“2つの危機”に直面しています。同時に、人口減少や地球温暖化など様々な社会課題にも立ち向かっているところです。区民の皆様のお強いお取組の一つ一つが、困難を乗り越え、より良い社会を目指すための大きな力となります。

この度策定した「左京区基本計画」は、左京区の明るい明日への礎となるもの。本計画を基に、それぞれの地域が培ってきた高い「地域力」、すばらしい「文化力」を、暮らしの豊かさとまちの活力につなげていきます。ひいてはそれが京都市全体の未来を創ります。そして、オール京都で共に、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の構築に力を尽くしてまいる決意です。

最後になりましたが、本計画の策定に御協力いただいた方々、貴重な御意見を寄せてくださった全ての皆様に、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。



左京区長

古瀬 ゆかり

左京区が誇る「自然・文化・ひと」が ますます輝くように

左京区基本計画（第3期）では、計画に掲げる目標を第2期計画から継承しつつも、「誰一人取り残さない」SDGsの理念を踏まえて持続可能なまちづくりを推進することを基本姿勢としています。そして、複雑化した課題を解決するために必要な要素を「つながり」「協働」「共生」「なりわい」「左京愛」としました。

この5つの要素によって左京区が誇る「美しく豊かな自然」、「地域が育んできた悠久の歴史や文化」、そして、それらを受け継ぎ守って来られた「ひと」という大きな魅力にますます磨きをかけ、区誕生100周年、さらにその先の未来に向けて、区民の皆様とともに更なる一步を踏み出したいと存じます。

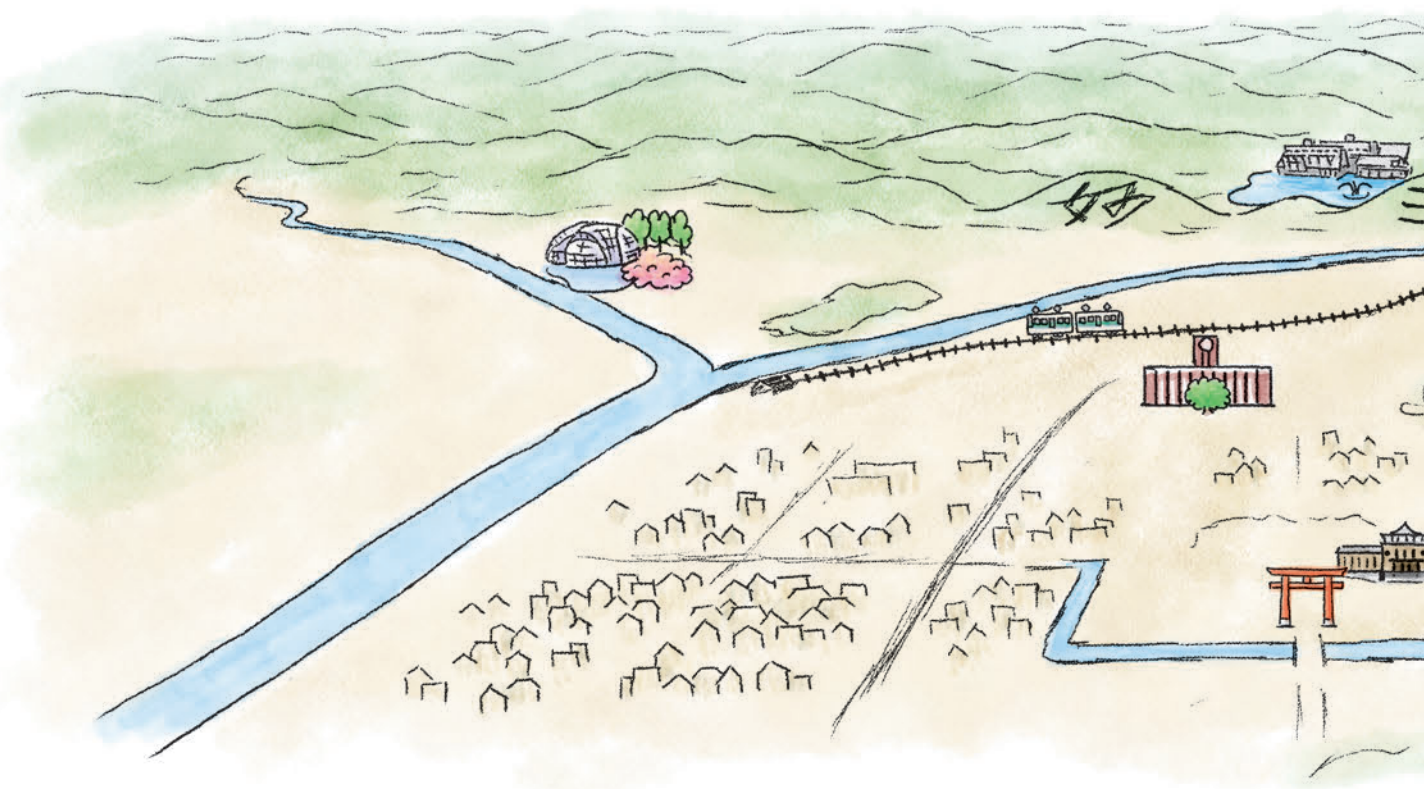
左京区職員も「左京愛」を胸に、一丸となって本計画を推進してまいりますので、引き続き、御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたり御協力をいただいたすべての方々に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

目 次

左京区の概況	2
1. 左京区の誕生	
2. 地勢・自然環境	
3. 歴史・文化	
4. 人口の推移	
5. 産業分類別事業所の状況	
計画の位置付け・特徴・背景	6
1. 計画の位置付け	
2. 計画の特徴	
3. 新たな課題や社会情勢の変化	
これまでの取組と計画の方向性	8
1. 第1期・第2期における取組状況	
2. 計画の方向性	
計画推進に当たってのまちづくりの基本姿勢・要素	10
計画の目指すところと計画の概要	12
まちづくりの目標と取組	14
[目標1] 美しい自然のまちづくり	
自然環境	
まちの美化・景観	
自然と調和した都市基盤整備	
防災・消防	
[目標2] 歴史・文化・学問のまちづくり	
歴史資源・文化財・伝統行事	
観光	
文化・芸術	
大学のまち・学びのまち	
[目標3] ひとにやさしいぬくもりのまちづくり	
子どもはぐくみ	
健康長寿	
障害者福祉	
地域コミュニティ・安心安全	
地域別の現状と課題, 方向性	26
左京北部山間地域の現状と課題, 方向性	
計画策定の経過	32
1. 京都市次代の左京まちづくり会議	
2. 計画策定に向けた意見募集	
計画の推進に向けて	33
1. 区民と行政・事業者・大学等との協働による取組	
2. 計画の進ちょく状況の管理	





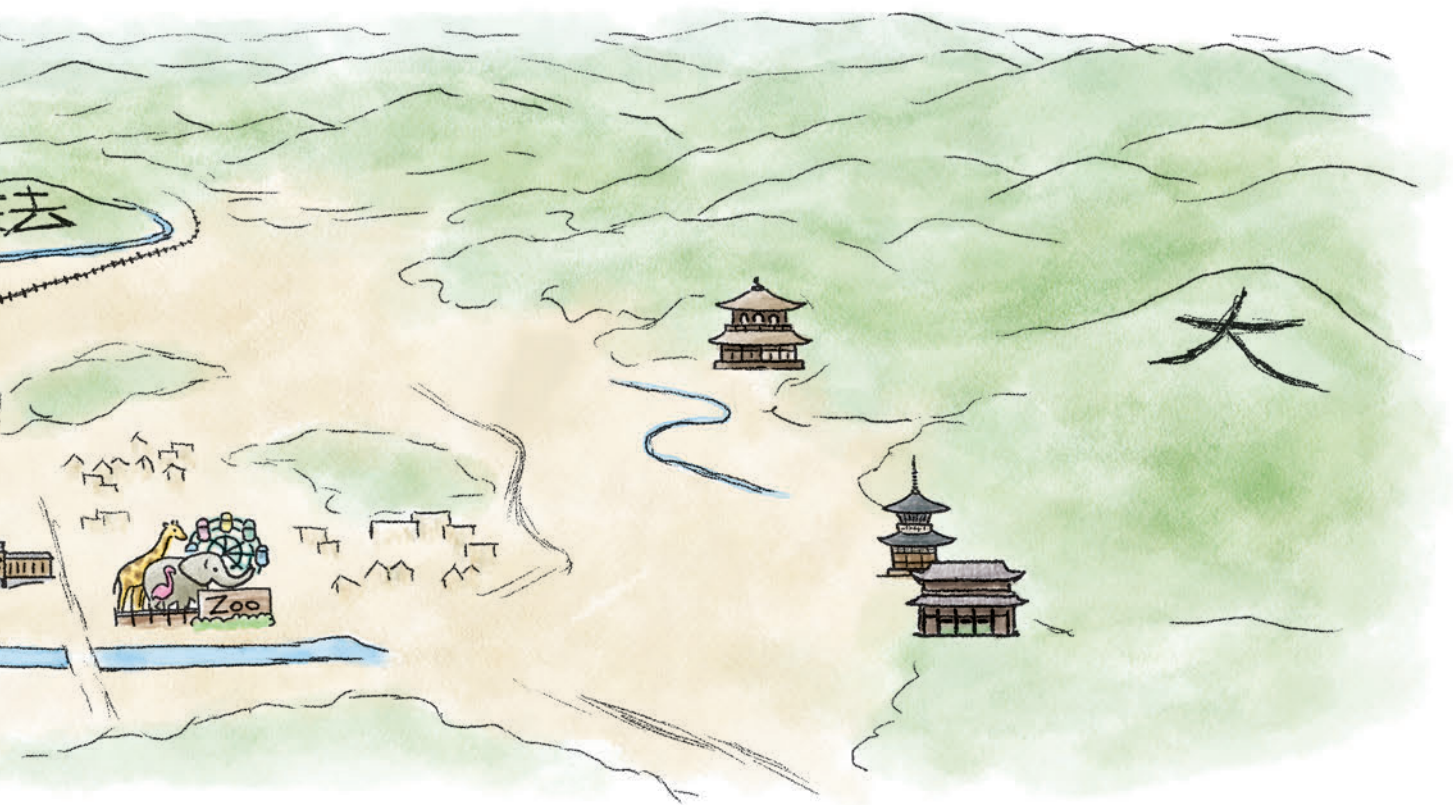
1 左京区の誕生

左京区は、昭和4（1929）年に上京区から分区し、誕生しました。その後、昭和6（1931）年に愛宕（おたぎ）郡修学院村、松ヶ崎村を、昭和24（1949）年に愛宕郡岩倉村、八瀬村、大原村、静市野村、鞍馬村、花脊村、久多村を、さらに、昭和32（1957）年に北桑田郡京北町広河原地区を編入し、現在に至っています。平成31（2019）年4月1日には誕生90周年を迎えました。

2 地勢・自然環境

左京区は、京都市の東北部に位置し、北は京都市の最北端で、南丹市や高島市に続き、東は大津市に、西は北区、上京区、中京区及び右京区に、そして南は東山区と山科区に接し、区域の面積は、大阪市より広く、246.77km²に及びます。また、区域は、大阪湾に注ぐ高野川・鴨川水系、桂川水系、琵琶湖に流れる安曇川水系の3つの水系の流域に大きく分かれ、地理的な特色からは、市街地を中心とする南部、市街地と自然が共存する中部、純農山村的な北部の3つに大別できます。

京都府下で最も高い皆子山^{みなこやま}（972m）、第2位の峰床山^{みねとこやま}（970m）を区域に含むなど、面積の約8割を山林が占め、峰床山の東には関西では珍しい高層湿原である八丁平^{はっちょうだい}があります。自然豊かな花脊以北地域は、平成28（2016）年3月に指定を受けた「京都丹波高原国定公園」に含まれています。なかでも「八丁平」は、第1種特別地域（現在の景観を極力維持する必要がある地域）に指定されています。また、平成29（2017）年には、大悲山峰定寺の御神木である花脊の三本杉のうち一本が樹高62.3mで、高さ日本一の樹木であることが判明しました。こうした山林は、京都や大阪の水源の役割を担い、多種多様な動植物のかけがえのないすみかとなっています。また、中南部地域にも糺の森^{ただす}、吉田山などの豊かな自然が残されています。北部地域には、山村都市交流の森、野外活動施設花背山の家、百井青少年村などの施設があり、豊かな自然環境を生かしながら交流を進める拠点になっています。



3 歴史・文化

左京区北白川では平成3（1991）年に縄文時代早期の竪穴住居跡が府内で初めて発見されるとともに、平成22（2010）年に京都市動物園内で行われた法勝寺（平安時代後期に白河天皇が造営）の発掘調査では、高さ約80mの巨大な八角九重塔の跡が見つかりました。また、室町時代後期、慈照寺（銀閣寺）を中心に花開いた東山文化から、いけばなや茶道などの文化が生まれたと言われています。このように、左京区は豊かな歴史と多彩な文化を有する区です。

また、区内には、世界遺産に登録されている賀茂御祖神社（下鴨神社）と慈照寺（銀閣寺）をはじめとして、南禅寺、平安神宮、鞍馬寺、三千院など著名な社寺が点在し、国宝や重要文化財が多く残っています。伝統行事では、国の重要無形文化財である久多の花笠踊をはじめ、市の無形民俗文化財に登録されている大文字・妙法の送り火、花脊・広河原・久多宮の町の松上げ、八瀬赦免地踊、鞍馬火祭などが各地域で継承されています。

さらに、京都市内行政区の中でも最も大学が多く、京都大学、京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都精華大学、京都芸術大学（旧名称 京都造形芸術大学）、京都ノートルダム女子大学の6つの大学（大学院のみの大学を除く）があります。岡崎公園周辺には、京都市京セラ美術館（京都市美術館）、京都市動物園、ロームシアター京都（京都会館）、みやこめっせ（京都市勧業館）、琵琶湖疏水記念館、京都府立図書館、京都国立近代美術館などの文化施設が集積しています。地下鉄北山駅周辺には、京都コンサートホール、京都府立植物園、京都府立京都学・歴史館などがあります。

また、令和元（2019）年9月に開館した「宝が池左京体育館」を含む「宝が池公園運動施設」、「左京地域体育館」、「京都市武道センター」や「京都市障害者スポーツセンター」などのスポーツ施設も充実しています。

大学の集まるまちとして留学生も多く、数多くの外国人観光客も訪れます。宝が池の国立京都国際会館では、地球温暖化防止京都会議（COP3）をはじめ、数多くの国際会議が開催されてきたほか、国際交流や多文化共生の拠点となっている京都市国際交流会館には、年間約28万人（令和元年度）の来館者があるなど、国際色豊かな区でもあります。

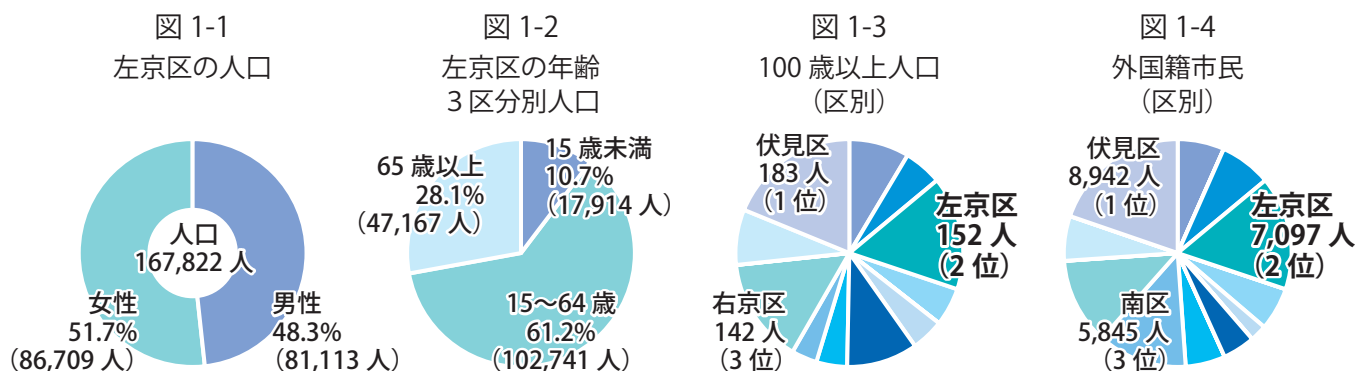
4 人口の推移

左京区には、令和元（2019）年 10 月時点で、167,822 人、85,720 世帯が暮らししており、京都市の中で 3 番目に人口の多い行政区です（図 1-1）。年齢 3 区分別人口について、左京区の「65 歳以上人口」の割合は約 28%であり、超高齢社会（老年人口 21%以上）の特徴を表しています（図 1-2）。その中で、100 歳以上人口は 152 人で、全行政区の中で 2 番目に多い状況です（図 1-3）。また、外国籍市民は 7,097 人で、全行政区の中で 2 番目に多く、多様な方による人口構成となっています（図 1-4）。

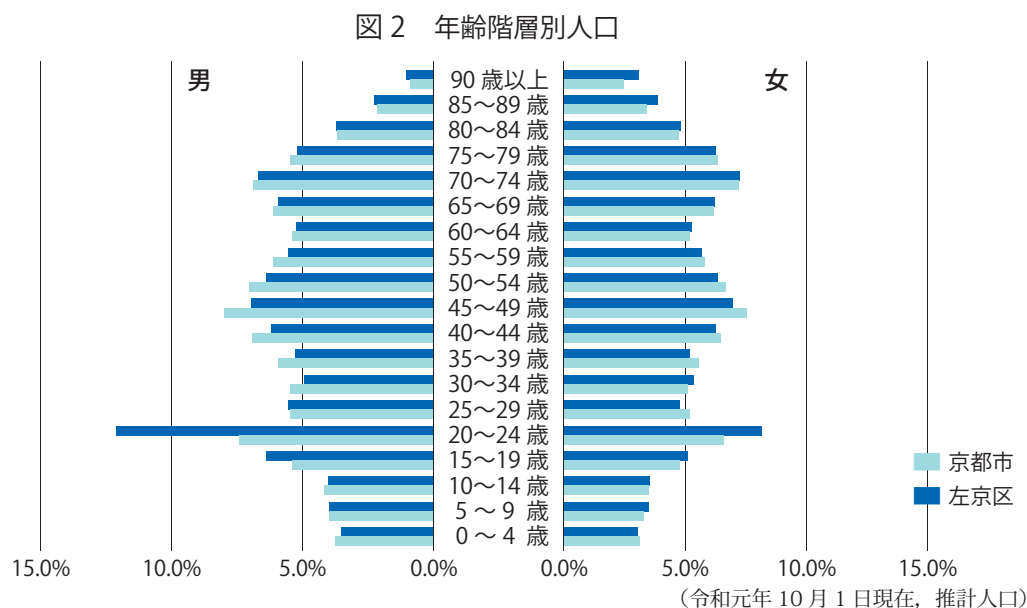
人口 ^{注1}	人口密度 ^{注1}	100 歳以上人口 ^{注1}	外国籍市民 ^{注2}	世帯数 ^{注1}
167,822 人	約 680 人／km ²	152 人	7,097 人	85,720 世帯

（推計人口）

注 1）令和元年 10 月 1 日現在 注 2）平成 30 年 10 月 1 日現在



人口ピラミッドを見ると、令和元(2019)年 10 月時点では男女ともに「20～24 歳」層が最も多く、「大学のまち・学生のまち」の特性を表しています。また、市全体と同様、「団塊の世代」である「70～74 歳」とそのジュニア世代である「45～49 歳」層の人口が多い状況となっています（図 2）。



人口及び将来推計人口では、平成 2（1990）年以降、老年人口比率（65 歳以上人口比率）が増加し、一方、年少人口比率（0～14 歳の人口比率）が減少しています。

令和 27 年には人口約 15 万人に対し、老年人口比率は 34.6%，年少人口比率は 9.8%に推移していくことが予想されます。

5 産業分類別事業所の状況

産業分類別の民営事業所数では、左京区の第3次産業の割合は88.4%となっており、京都市全体の第3次産業の割合（83.2%）より高くなっています（図3-1、図3-2）。

図3-1 産業分類別民営事業所数構成比（京都市）

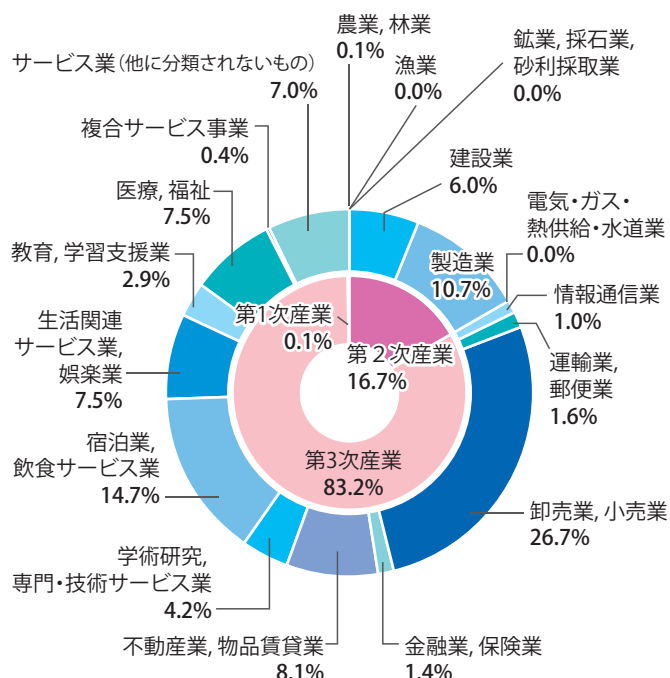
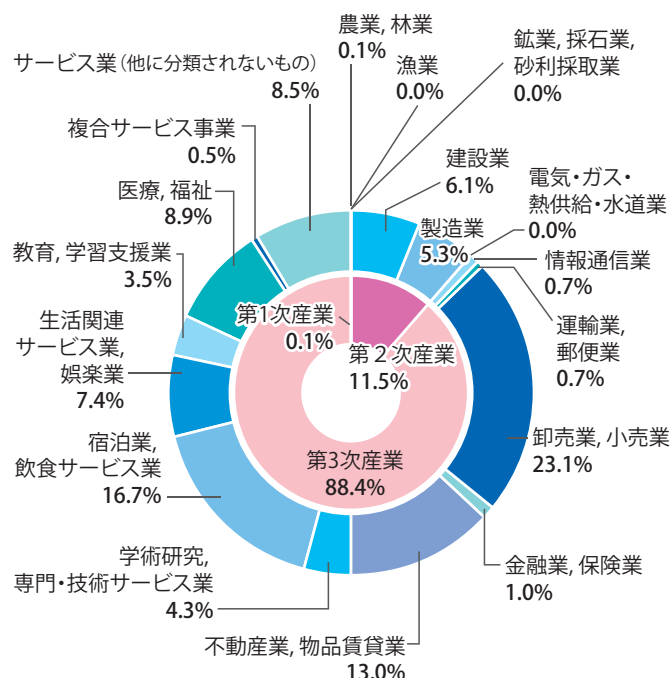


図3-2 産業分類別民営事業所数構成比（左京区）



産業分類別の従業者数では、左京区の第3次産業の割合は92.8%となっており、京都市全体の第3次産業の割合（83.8%）より高くなっています。その中でも、「教育・学習支援業」が15,164人（21.8%）と最も多く、次いで「医療・福祉」が14,204人（20.4%）で、民営事業所としては大規模である大学が6つ集積している「大学のまち」としての特性や、医療機関や社会福祉事業所など社会資源の多さを反映しています（図3-3、図3-4）。

図3-3 産業分類別従業者数構成比（京都市）

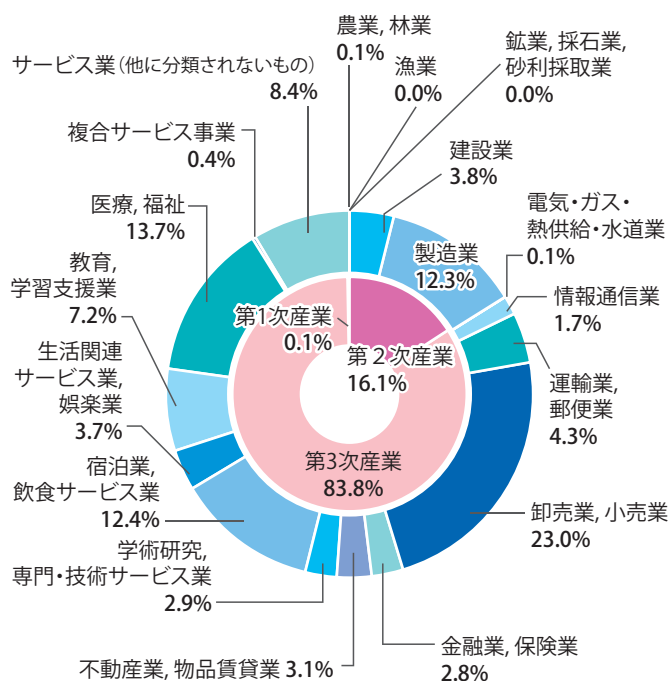
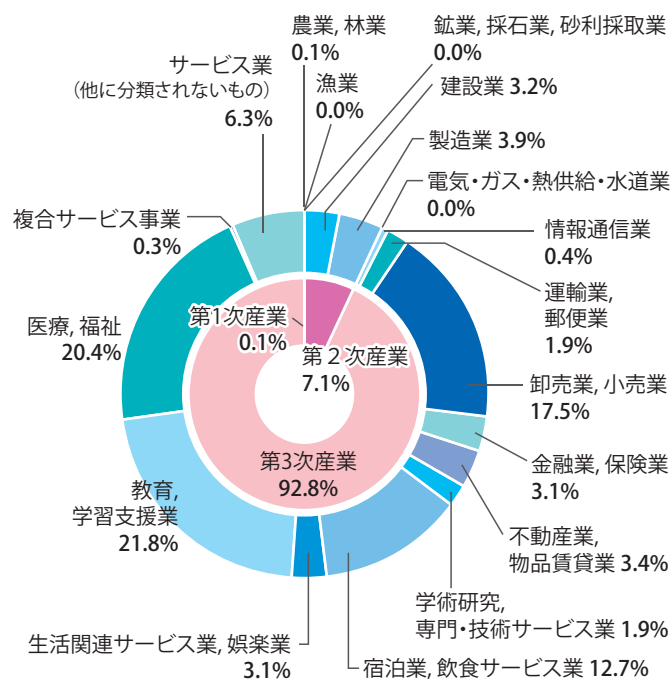


図3-4 産業分類別従業者数構成比（左京区）

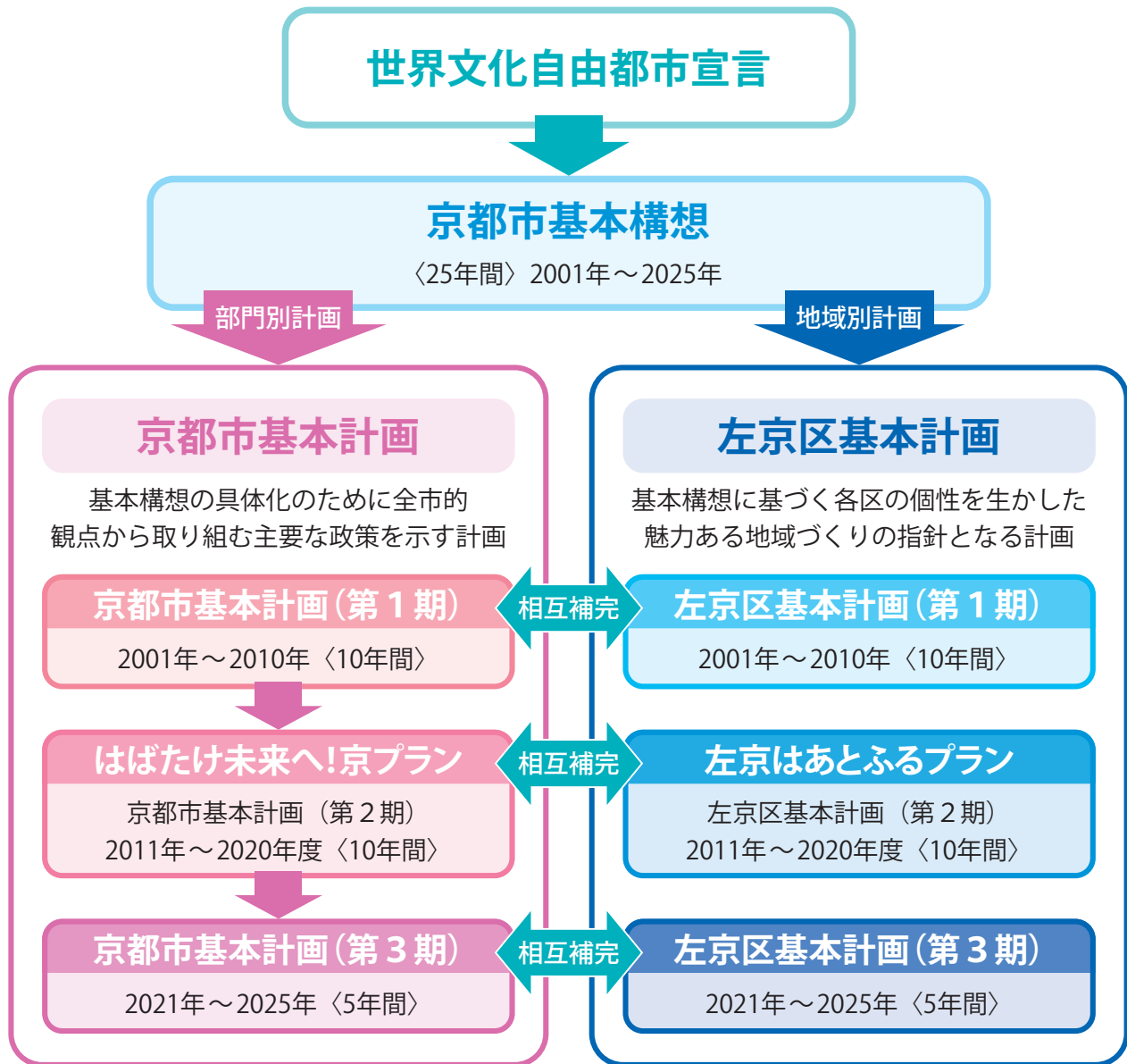


（平成28年経済センサスー活動調査）

計画の位置付け・特徴・背景

1 計画の位置付け

左京区基本計画は、京都市基本構想を具体化する地域別計画であり、部門別計画である京都市基本計画と相互に補完するものです。



2 計画の特徴

- 第2期計画（左京はあとふるプラン）を基本的に継承したうえで、新たな課題や社会情勢の変化を踏まえて、整理・修正した計画
- 幅広い方々のご意見をお聞きし、皆さんの思いやアイデアを反映した計画
- 区民に広く知ってもらい、左京区まちづくりの指針・拠り所となる計画
- 左京区誕生 100 周年（2029 年）やその先の未来に向けて、左京区の新たなまちづくりのステップ・土台となる計画

3 新たな課題や社会情勢の変化

■ SDGs※への対応

国連において掲げられた国際目標であるSDGsの「誰一人取り残さない」の理念、及びあらゆる危機にしなやかに対応し、より魅力的な都市となるレジリエンス※の理念を踏まえながら持続可能なまちづくりを推進することを最上位の基本姿勢とする必要があります。

■ 社会的孤立の顕在化

人口構造の変化や地域社会における関係の希薄化等により、8050問題※など他者との接触がほとんどない社会的孤立の増加が懸念されます。

■ 人口減少、少子化、高齢化による地域行事などの担い手不足

人口減少、少子化、高齢者の増加と单身化の傾向が今後も継続することが予想され、地域の担い手不足が深刻な問題となっています。

■ 価値観・ニーズの多様化、外国籍市民等※の増加

多くの学生や外国籍市民等、様々な文化や価値観を持った人々が暮らす左京区において、区民が互いを尊重しながら交流できる環境づくりが求められています。

■ 新型コロナウイルス等感染症や自然災害の脅威

新型コロナウイルス感染症のような経験したことのない新たな感染症や、激甚化する自然災害に対して、地域防災の更なる充実が求められています。

■ 厳しい京都市財政、持続可能な行財政の確立

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、市税収入の回復が見込めない中、社会福祉関連経費の増加が続くことで、今後、毎年度 500 億円もの財源不足が見込まれており、このまま事態が進み、財政再生団体になると、最低限の行政サービスしかできず、税金やさまざまな料金が値上げとなります。

このため、真に必要な施策を持続可能にするための事業見直しや、公共施設の適正管理・受益者負担の適正化等に取り組むとともに、若者や企業の定着を図り、支え手を増やすことで税収増につなげ、全ての世代が暮らしやすく、魅力・活力あるまちを目指す必要があります。



- SDGsの理念を踏まえ、IT化のより積極的な普及促進、働き方改革などこれまで達成できていなかった社会課題の解決を加速し、ウィズコロナ時代における新しい生活スタイルに対応した持続可能でより安心安全のまちづくりを構築します。

- そのうえで、これまで同様、各分野における個別的課題に即して取組を進めるとともに、（それだけでは解決できない）複数分野にわたる横断的・根底的な課題に対応して、取組の実施に当たって必要となる共通の基本姿勢や、課題解決を横断的に促進する基盤的要素として、「つながり」・「協働」・「共生」・「なりわい」・「左京愛」を位置付け、総合的に左京区のまちづくりを推進します。



※ SDGs（持続可能な開発目標）：平成 27（2015）年の国連サミットで採択された、令和 12（2030）年までを期間とする国際目標。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットを定めたもの。

※ レジリエンス：さまざまな危機からの回復力、復元力、強靭性（しなやかな強さ）を指す。

※ 8050 問題：80 代の親とひきこもり状態の 50 代の子が同居する世帯等の孤立化・困窮化に伴うさまざまな問題。

※ 外国籍市民等：外国籍の市民のほか、海外にルーツを持つ日本国籍の市民や帰国児童・生徒も広く含めた表現。

1

第1期・第2期における取組状況

第1期における取組状況

(2001～2010年)

歴史

- 伝統行事を収録した観光振興用DVDの作成
- 伝統行事の保存会等のネットワークづくり
- 「知られざる歴史的文化遺産の再発掘とまちづくり資源としての整備」をテーマにしたシンポジウムや講演会の開催
- 散策マップや歳時記マップの作成

文化

- 煎茶会、いけばな教室、文化フェスティバル、作品展を開催
- 区民による身近な文化の更なる創造

学問

- 大学と地域の相互交流促進事業を活用した、大学と地域の協働による魅力あるまちづくり
- 大学等の研究者による区民講座を開催

緑あふれるやま・さと・まち 区民が出会い、ふれあう場

- 左京区民ふれあいまつりをはじめとする区民ふれあい事業
- 人権啓発事業
- 心ときめき芸術祭の実施
- 誰もが互いの人権を尊重するまちづくり
- 新左京区総合庁舎の整備

第2期における取組状況

(2011～2020年)

目標1

美しい自然の まちづくり

- チマキザサ再生プロジェクトの推進
- 「農」を活かした北部山間地域魅力創造プロジェクトの推進
- 北部山間各地域における夏・秋祭りの実施
- 学生向け自転車啓発「今出川通作戦」の実施等、自転車の安全利用の啓発
- ニノ瀬トンネルの完成・開通
- 各地域における防災訓練の実施や避難行動マニュアルの作成

目標2

歴史・文化・学問の まちづくり

- 左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクトの推進
- 「左京・食と伝統の文化フェスタ」の開催
- 岡崎地域活性化推進事業の実施
- 京都市動物園、京都会館、京都市美術館、京都府資料館のリニューアル
- 「左京×学生縁ねっと」の実施
- 京都府立大学との共同研究による伝統文化の保存・継承のための調査の実施
- 京都精華大学との包括連携協定の締結

目標3

ひとにやさしいぬくもりの まちづくり

- 「さきょうほっこりベビーフェスタ」等、妊婦、0歳児とその親を対象とした相談事業や交流の場づくり
- 「左京・からだの学校」による高齢者の健康づくりと仲間づくり
- 認知症の方やその家族を対象とした居場所づくり
- 区役所での授産施設の自主製品の販売コーナーの設置
- 4箇国語による左京区防犯・防火ハンドブックの作成や地域の見守り活動への支援
- 「みんなでつくる左京朝カフェ」の開催
- 「左京まちづくり交流会」の開催
- まちづくり活動支援交付金事業の実施

※第1期から継続する取組は記載を省略

2 計画の方向性

〈第2期〉2011～2020

左京はあとふるプラン

【計画の目指すところ】

自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ「豊かなところ」を大切に伝えます

■ 目標1

美しい自然のまちづくり

■ 目標2

歴史・文化・学問のまちづくり

■ 目標3

ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

地域別の目標

15 の取組分野

各分野において取組を推進

★「目標1～3」を継承

横断的課題

○今後の課題

【これまでからの課題】

【新たな課題】（社会情勢の変化等）

- ・ SDGs への対応
- ・ 社会的孤立の顕在化
- ・ 人口減少、少子化、高齢化による担い手不足
- ・ 価値観・ニーズの多様化
- ・ 外国籍市民等の増加
- ・ 新型コロナウイルス等感染症や自然災害の脅威
- ・ 厳しい京都市財政、持続可能な行財政の確立 等

★「まちづくりの基本姿勢・要素」を新たに設定

★「取組分野」を整理・修正（新たな課題、社会情勢等を踏まえて）

各分野
個別的課題

〈第3期〉2021～2025

左京区基本計画（第3期）

【計画の目指すところ】

左京の自然や文化を大切にし、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進めます

まちづくりの基本姿勢・要素

「誰一人取り残さない」

SDGs の理念を踏まえた持続可能なまちづくりの推進

① つながり

② 協働

③ 共生

④ なりわい

⑤ 左京愛

■ 目標1

美しい自然のまちづくり

■ 目標2

歴史・文化・学問のまちづくり

■ 目標3

ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

地域別の目標

12 の取組分野

各分野において取組を推進

各分野横断的に取組を推進

《区誕生100周年、さらにその先の未来に向けて》

持続的に発展するまちづくりのサイクルを確立

推進体制の充実

左京区基本計画（第3期）においては、計画の推進に当たり、前計画期間中に顕在化した新たな課題や社会情勢の変化（P.7 参照）を踏まえて、新たに必要となる基本的な姿勢や、促進すべきまちづくりの基本的要素（「まちづくりの基本姿勢・要素」）を以下のとおり設定します。

2. 協働

区民・事業者や様々な団体・機関による
参加・連携・協働によるまちづくりの推進
（※第2期取組分野14「市民参加」を拡大して位置付け）

区民、地域団体、事業者、大学、NPO・活動団体、行政等が
参加・連携・協働し、各主体の「強み」を生かして、社会課題の解決や
左京の魅力発信等を行うまちづくりを推進する。

【取組の具体例】

- ・左京区まちづくり活動支援交付金事業
- ・世界一安心安全・おもてなしのまち京都
市民ぐるみ推進運動
- ・地域課題解決に向けた大学との協働事業
- ・はぐくみネットワーク

3. 共生

多様性を互いに尊重しながら共に生きるまちの推進
（※第2期取組分野15「共生」を拡大して位置付け）

全世界から集まる多くの学生や外国籍市民等、
性的少数者など、様々な文化や価値観を持った人々が
互いの文化や考え方等の違いを認め合い、尊重し合いながら、
助け合い、支え合うまちづくりを進める。

【取組の具体例】

- ・心のふれあいみんなの広場
- ・心ときめき芸術祭

1. つな

住民同士や地域間、各団体
「交流・つなが

（※第2期取組分野15「交

住民同士や「地域間」「世代間」、
で住んでいた住民と移住外国人や
「観光客と区民」「大学と地域」など
互いの情報を共有しながら交流と

【取組の具体例】

- ・左京区民ふれあい
- ・SNSやオンライン
- ・まちづくりネット

「誰一人取り SDGsの理念 持続可能なまち

国連において掲げられたSDGs（持続
ない）の理念や方向性を踏まえながら、
（情報格差）を解消する真のIT社会の
エント・シティ※の実現を図り、左
するすべての人が、生涯を通じて
な安心安全の左京のまちづ

※レジリエント・シティ：自然災害や人口減少をはじめとする様々な危機に対し、粘り強くしなやかに対応し、将来にわたって人々がいきいきとくらせる、魅力と活気に満ちた都市。

※スタートアップ企業：新しいビジネスモデルで急成長をめざす新興企業

※ソーシャルビジネス：社会的課題の解決にビジネスの手法を活用して取り組むこと。

がり

間, 事業者間等における「り」の促進
流」を拡大して位置付け)
「各団体間」, 「事業者間」, 「これま
留学生などの転居してきた住民」,
様々な主体が, 様々な媒体を通じて,
つながりを促進する。

まつり
のICTツールの活用
ワーク形成事業

残さない」 を踏まえた づくりの推進

可能な開発目標)の「誰一人取り残さ
高齢者などのデジタル・ディバイド
実現, あらゆる危機に備えたレジリ
京に暮らし, 働き, 学び, 左京を愛
いきいきと過ごせる, 持続可能
くりを推進する。

5. 左京愛

「左京ファン」の拡大と
まちの「担い手・支え手」の育成

単に左京区の魅力を一元的に発信するだけでなく, 様々な人が, 訪ねる
魅力・住む魅力・働く魅力等をきめ細かく区内外へ発信し, 広げていくこと
により, 国籍等に関わらず多様な区民のまちへの愛着・誇りを醸成する。
まずは広く左京に訪れていただくことで「左京ファン」を増やし, その中から
若い世代をはじめとした人の移住や定住を促進させ, 各地域の行事・取組の
後継者や, まちづくりの「担い手・支え手」を育成していく。

【取組の具体例】

- 左京区広報PRキャラクター
- 左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト

4. なりわい

産業振興・しごと創造による地域活性化, 生活基盤の安定と
定住化の促進, 地域内経済循環の促進, 文化と経済の融合

左京区内の地域や文化を支えている事業者(地域企業等)・
職人が地域資源を生かしながら活躍して産業を振興することにより,
地域が活性化し, 区民の生活基盤が安定して, だれもがいつまでも
安心して住み続けられるまちづくりを推進する。
また, 社会的課題・地域課題の解決を目標として, スタートアップ企業[※]や,
ソーシャルビジネス[※]に取り組む企業等と連携し, 持続可能な
まちづくりの推進体制を確立していく。

【取組の具体例】

- 企業と連携した(ビジネス的手法による)
地域活性化

新型コロナウイルス感染症の拡大が社会へもたらした影響の大きさを踏まえ、左京区基本計画（第マスク着用などを示した新しい生活スタイルの浸透，地域活動のあり方の検討，行政手続き等の更な

目指すところ

左京の自然や文化を大切にし、
誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進めます

1 美しい自然のまちづくり

緑あふれる美しい自然を守り育て、
脱炭素・自然共生・循環型社会を実現し、
環境と調和したまちづくりを進めます。

5年後
の
すがた

美しい自然環境と自然資源を活用し、
持続可能な生活を実現している。

2 歴史・文化・学問のまちづくり

豊かな歴史と多彩な文化、
多くの大学が集まる学問の魅力を
更に高めるまちづくりを進めます。

5年後
の
すがた

伝統を生かしつつ、新しい魅力を創造
している。文化によって社会、経済が活
性化されている。

3 ひとにやさしい ぬくもりのまちづくり

全てのひとが支え合いながら、
住み慣れた地域で暮らしていくことができる
地域共生社会を実現するまちづくりを進めます。

5年後
の
すがた

誰もが人とのつながりや生きがい、役割
を持ち、社会的に孤立することなく、いき
いきと安心して過ごすことができる。

1 自然環境

2 まちの美化・景観

3 自然と調和した
都市基盤整備

4 防災・消防

5 歴史資源・文化財・
伝統行事

6 観光

7 文化・芸術

8 大学のまち・
学びのまち

9 子どもはぐくみ

10 健康長寿

11 障害者福祉

12 地域コミュニティ・
安心安全

と計画の概要

3期)では、同様の脅威が起きたときを想定し、ウィズコロナ時代に適応した3密対策や手洗い・消毒、ICT化の推進などに取り組み、持続可能な安心安全のまちづくりを目指します。

※「区民一人ひとりができること」には、事業者や大学等それぞれがすることも含みます。

区民一人ひとりができること※ 	区民と行政・事業者・大学等が協働すること。 	行政(区役所・市役所)がすること。 
『自然を愛でるころ』を大切にしましょう。	自然を育み、生かして、次代に継承しましょう。	広域的・長期的視点で自然を生かした取組を進めます。
美しいまちを目指しましょう。	地域での一斉清掃などの取組を行いましょ。	環境保全に関する啓発を強化し、景観に配慮した整備を進めます。
自然資源を暮らしの中で使いましょ。	まちの緑や景観を守りましょ。	自然に配慮した都市基盤整備を進めます。
自然災害等に対する防災意識を高めましょ。	長期的な視点で力を合わせて防災に取り組みましょ。	災害に強いまちづくりを進めます。
左京区の歴史や文化を学び、伝統行事を守り伝えましょ。	学校等との連携により、歴史や文化を学ぶ仕組みをつくりましょ。	文化財・伝統行事の保存・継承や活用を進めます。
観光客に左京区の文化を伝えましょ。	自然を生かし、市民生活と調和した持続可能な観光の仕組みづくりを進めましょ。	地域の魅力を生かし、市民生活や地域にとっての豊かさにつながる観光を支援します。
文化・芸術を楽しみましょ。	文化・芸術の創造と発信に取り組みましょ。	文化・芸術を身近に感じられる環境づくりと、文化・芸術の活用に取り組みます。
地域と大学・学生との交流を図りましょ。	大学の発想を生かしたまちづくりを進めましょ。	大学・学生と地域・行政等が連携できる仕組みづくりを進めます。
子どもや子育て家庭を地域全体で見守り、育てましょ。	子どもや子育て家庭の安心・安全を確保しましょ。	妊娠前から育児期、青年期に至るまで、切れ目のない支援を推進します。
楽しみながら生涯を通じて健康づくりに取り組みましょ。	地域で顔の見える関係づくりを進めましょ。	健康づくりの機運を高め、区民が主役の「健康長寿のまち・左京」を目指します。
地域で福祉に取り組む意識を受け継ぎましょ。	地域でいきいきと健やかに暮らせるよう交流しましょ。	地域のネットワークづくりを推進します。
互いを認め合い、交流を深め、地域活動への参加を呼びかけましょ。	地域の団体との連携により、地域活動の輪を広げましょ。	地域間の交流と情報の共有を支援します。

目標 1

美しい自然のまちづくり

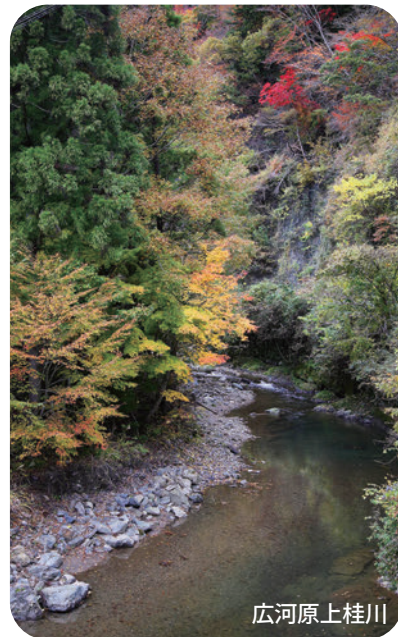
自然環境



花脊三本杉



百井地区風景



広河原上桂川

今後の 方向性

- 自然環境の価値を再認識し、山間地や里山が都市の中で担ってきた役割や築いてきた文化を理解していく。
- 今後も農地を維持しながら地元の食材を使う食文化を広めるなど、豊かな自然を生かした農林業を守り伝えていくとともに、地元産の農林産物の積極的な消費や環境と調和した生活を実践することにより、農林業の振興につなげていく。
- 農地や森林・川と触れ合う機会を創出するなど、自然環境をキーワードに北部地域と中南部地域の交流を進め、左京区の自然の魅力を発信し、次世代に伝えていく。
- 深刻な被害をもたらす台風等の発生に影響を与えている気候変動問題に向き合い、2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向けた脱炭素の取組などを通じて、持続可能な社会づくりに向けた取組を暮らしに取り入れていく。
- 豊かな自然環境とそれに支えられたくらしや伝統、文化等を今後も継承していくため、「生物多様性」の恵み豊かな自然環境を保全・回復していく。

『自然を愛でるころ』を大切にしましょう。

区民の 取組

- ・ 自然を大切にし、「自然を愛でるころ」を次の世代へと受け継ぎましょう。
- ・ 美しい自然を守るため、エコライフ（地球環境に配慮した優しい生活）を実践しましょう。
- ・ 北部山間地や里山について学び、訪れて、その魅力を体感しましょう。

協働の 取組

自然を育み、生かして、次代に継承しましょう。

- ・ 山林の維持管理や休耕田等の活用を進めるなど、自然の資源を生かしましょう。
- ・ 自然と環境の価値や山間地・里山の役割を広く普及し、次世代に伝える取組を進めましょう。

行政の 取組

広域的・長期的視点で自然を生かした取組を進めます。

- ・ 農林業の振興を図り、産業や生活基盤としての魅力を高めるとともに、鳥獣被害や病虫害の対策を進めます。
- ・ 豊かな自然を生かし、北部地域と中南部地域の交流を進め、左京区の自然の魅力を発信します。

まちの美化・景観



左京区一斉清掃の様子



無電柱化の町並み

今後の方向性

- ごみを捨てない、捨てさせない環境をつくる。
- 区民や観光客がまちの美化やごみの減量に取り組んでいけるよう意識の醸成を図っていく。
- ごみの出ない循環型のライフスタイル・ビジネスモデル・地域社会へ転換する。



区民の取組

美しいまちを目指しましょう。

- 門掃きや打ち水など、まちを美しくすることを心がけましょう。
- ごみを出すルールを守り、環境意識を高めてごみを減らしましょう。

協働の取組

地域での一斉清掃などの取組を行いましょう。

- 地域内の一斉清掃を行うなど、まちや山、川を美しくしましょう。
- ごみの出し方のルールを徹底し、不法投棄をなくしましょう。

行政の取組

環境保全に関する啓発を強化し、景観に配慮した整備を進めます。

- 区民や観光客へのまちの美化やごみの減量、環境保全に関する広報を充実させます。
- 無電柱化など景観に配慮したまちづくりを進めます。

自然と調和した都市基盤整備



今後の方向性

- 左京区ならではの豊かな自然との調和を図りつつ、道路改良など交通手段の確保と都市基盤の整備を進めることで、北部地域に来てもらい、暮らしてもらう人を増やしていく。
- 市街化調整区域や都市計画区域外等の各地域で定住できる、活力ある里づくりを進める。
- 北部地域と中南部地域の交流を更に進めていく。
- 地域の将来像を踏まえた空き家の活用方法等を検討する。



区民の取組

自然資源を暮らしの中で使いましょう。

- 左京区の自然に親しみ、資源を日々の生活や仕事の中に使っていきましょう。
- 自然や資源を生かして地域間の交流や連携を深めましょう。

協働の取組

まちの緑や景観を守りましょう。

- 緑を豊かにし、自然と調和した美しい景観を守りましょう。
- 若い世代が移り住めるよう、自然を守りながら北部地域の活性化を進めましょう。

行政の取組

自然に配慮した都市基盤整備を進めます。

- 北部地域の活性化や中南部地域との交流を促進するため、道路網の整備推進など、美しい自然に配慮しながら都市基盤整備を進めます。
- まちの緑である都市公園等の再整備を進めます。

防災・消防



今後の方向性

- 水や食料の備蓄，避難行動に関する知識，感染症対策等，自主防災組織等と連携して，様々な機会を通じて住民に周知していく。
- 土地所有者，区民，行政及び関係団体が連携し，適切な森林保全，民家隣接の傾斜木の撤去，都市の活力・レジリエンスの向上に向けた道路整備等，自然災害による被害軽減に取り組む。
- 地域や関係機関と連携して，独居の高齢者，他府県からの学生や留学生，外国籍市民等及び障害のある人への避難誘導等の支援の在り方など，住民の特性や地域の実情に即した防災対策を検討する。
- 行政各部署や関係団体が連携し，高齢者，障害のある人，妊産婦等，一般の避難所での避難生活が困難な方が，福祉避難所での避難生活へ円滑に移行できるよう，協議・訓練に取り組む。
- 地域や施設管理者，関係団体と連携して，学区ごとに避難所運営に係る課題を共有し，避難所運営訓練の実施と，飼主とペットの受入れができる避難所の受入れ体制の強化を進める。

自然災害等に対する防災意識を高めましょう。

区民の取組

- 自然災害や火災の被害を最小限にするため，日常的に地域全体の安全を一人ひとりが考え，防災訓練に積極的に参加しましょう。
- 避難生活に備え，最低3日分の水や食料，薬，マスク，体温計，消毒液等を準備し，避難の際には持参しましょう。
- 災害時にご近所や地域の人と助け合える関係を日頃から築きましょう。

長期的な視点で力を合わせて防災に取り組みましょう。

協働の取組

- 地域と行政，関係団体等が力を合わせ，防災や地域の安全について，長期的な視点に立って取組を進めましょう。
- 咳エチケットや手洗い，3密回避など，避難所での感染症対策を日頃から住民に周知し，地域ぐるみで取り組みましょう。
- 自主防災組織や地域住民が連携して課題に取り組み，地域の防災力を高めましょう。

災害に強いまちづくりを進めます。

行政の取組

- 区民と行政，関係団体との連携を強化し，行政や地域の防災訓練等の場も活用して，区民の防災意識や避難行動の向上に取り組めます。
- 避難所へ感染防止対策物品を配備し，住民に感染症対策の情報を周知し，避難所での感染症対策に取り組めます。
- 災害に強い道路や橋りょう等の整備，適切な森林管理，倒木や危険木の対策等を進めます。
- 土木・保健・福祉・医療・ボランティア等，各方面における行政機関や関係団体と連携・協力し合い，避難所運営や被災者支援の一層の向上に取り組めます。

歴史資源・文化財・伝統行事



大文字送り火



鞍馬火祭



久多の花笠踊

今後の方向性

- 左京の宝である歴史資源・文化財・伝統行事を今後も継承していくため、子どもたちが、これらの歴史・文化を日々の暮らしや学校等と地域の連携の中で学んでいくとともに、地域の行事に参加できるような仕組みづくりに取り組む。
- 祈りと信仰に由来する伝統行事の本来の意義について考える機会を設ける。
- 新しい住民の方に伝統行事への参加を呼びかけていく。
- 左京の豊かな伝統と歴史を区内外の方に支えていただけるよう、魅力を発信していく。

区民の取組

左京区の歴史や文化を学び、伝統行事を守り伝えましょう。

- 豊かな伝統と歴史を誇る左京区の魅力を学び、次世代へと継承していきましょう。
- 自然と歴史が融合した文化の良さや日常的な文化的景観を再認識し、守っていきましょう。
- 若い世代や子どもに伝統行事を伝えるとともに、行事に参加できる仕組みをつくり、参加を呼びかけましょう。

協働の取組

学校等との連携により、歴史や文化を学ぶ仕組みをつくりましょう。

- 地域の歴史や文化、伝統行事、古くから伝承されてきた生活習慣について、地域と学校、大学等の連携により、区民や子どもたちが気軽に学ぶことのできる仕組みづくりを進めましょう。
- 伝統行事の保存・継承の課題解決に向けた取組を進めましょう。

行政の取組

文化財・伝統行事の保存・継承や活用を進めます。

- 貴重な文化財の調査を行い、保存・活用を進めます。
- 歴史や文化についての情報を発信し、魅力を伝えます。
- 伝統行事を担う人のネットワークにより、地域間の交流や必要な資材等に関する情報交換を支援します。
- 伝統行事の継承に向け課題等を広く発信し、理解と支援を求めます。

観光



今後の方向性

- これからも観光客を温かくもてなしながらもしっかりとマナー・ルールを周知するなど、地域住民の暮らしと十分に調和を図りながら持続可能な観光を推進していく。
- 各地域ならではの文化や豊かな自然を生かした観光の仕組みづくりを進め、多様な魅力を発信していく。



区民の取組

観光客に左京区の文化を伝えましょう。

- 左京区の文化を理解し、地域の文化を発信しましょう。
- 国内外からの観光客をおもてなしの心で温かく迎えましょう。

協働の取組

自然を生かし、市民生活と調和した持続可能な観光の仕組みづくりを進めましょう。

- 農林業や食文化の体験など、豊かな自然を生かし、市民生活と調和した持続可能な観光の仕組みづくりを進めましょう。

行政の取組

地域の魅力を生かし、市民生活や地域にとっての豊かさにつながる観光を支援します。

- ごみのポイ捨て等の観光客のマナー違反の発生を防ぐとともに、自然や文化をゆっくり味わうことのできる観光を目指し、地域の魅力づくりを支援します。
- 地域課題の解決に貢献するなど、市民生活や地域にとっての豊かさにつながる観光を支援します。

文化・芸術



ふれあい事業 いけばな教室



岡崎地域の文化施設



ふれあい事業 区民煎茶会

今後の方向性

- 左京区の恵まれた文化・芸術を楽しむところを多くの区民が受け継いでいくために、区民が魅力を感じて文化・芸術に触れるような仕組みをつくる。
- 自然と歴史を生かした、左京区ならではの新しい文化・芸術の創造と発信に取り組む。
- 各地域で受け継がれてきた伝統的な文化・芸術を観光やまちづくりなど様々な分野に活用し、文化・芸術による区内の新たな価値の創造に取り組む。

区民の取組

文化・芸術を楽しみましょう。

- 区内にある文化・芸術の施設を訪ね、地域ゆかりの文化や、新しい芸術を楽しみましょう。
- 暮らしの中に息づいている文化を新しい視点で受け継いでいきましょう。

協働の取組

文化・芸術の創造と発信に取り組みましょう。

- 大学・文化施設等が協働し、文化・芸術の創造を目指し活動する区民を支援する場や機会の提供に取り組みましょう。
- 区民が左京の文化・芸術を学ぶことのできる機会をつくりましょう。

行政の取組

文化・芸術を身近に感じられる環境づくりと、文化・芸術の活用に取り組みます。

- 区民が食文化やお茶、いけばな等、左京の自然や歴史と結びついた文化・芸術に気軽に触れることができる環境づくりに取り組みます。
- 文化・芸術の創造に対する支援に取り組むとともに、教育や観光、まちづくり等に生かします。
- 岡崎地域の活性化や北山エリアの整備を左京のまちづくりに生かします。

大学のまち・学びのまち



大学キャンパス



大学生による雪かきボランティア

今後の方向性

- 大学施設の開放や社会人向けの講座の実施など「学びのまち」の環境づくりを図る。
- 学生の持つ柔軟な発想と若々しい力には左京のまちを大きく変えていく可能性がある。また、生活者として自転車等の交通のマナーやごみ出しなどの生活のマナーの向上を図りながら、大学と地域がうまく交流していく。



地域と大学・学生との交流を図りましょう。

区民の取組

- 近くの大学に通っている学生や地域で暮らしている学生と交流を図り、若い力でまちづくりを進めましょう。
- どの世代の人でも大学等で行われる講座等に参加し、人生100年時代に向けた学び直しを進めましょう。

大学の発想を生かしたまちづくりを進めましょう。

協働の取組

- 学生や研究者ならではの視点を生かし、地域の課題解決とまちづくりを進めましょう。
- 学生の地域の行事への参加を促進しましょう。
- 誰もが生涯学び続けられる環境づくりを進めましょう。

大学・学生と地域・行政等が連携できる仕組みづくりを進めます。

行政の取組

- 区内の大学が連携し、左京区ならではの共同事業ができる仕組みづくりを進めます。
- 地域と大学・学生の協働によるまちづくりを支援するとともに、更なる情報発信を行います。



さきょうほっこりベビーフェスタ



ブックスタート事業

今後の
方向性

- 子どもは、次代の左京を担うかけがえのない宝であり、安心して安全に子どもを産み育てることができるように、地域全体で、子どもやその家族を温かく見守り、育む。
- 子育て家庭を、社会から孤立させないように、地域における親子が利用する居場所の拡充や機能強化など、気軽に悩みを相談できる環境づくりに取り組む。



区民の
取組

子どもや子育て家庭を地域全体で見守り、育てましょう。

- ・ 子どもや子育て家庭を地域全体で見守り、支え合いましょう。
- ・ 見守り活動や地域行事など、地域全体で子どもや子育て家庭と関わりましょう。

協働の
取組

子どもや子育て家庭の安心・安全を確保しましょう。

- ・ 子どもの安心・安全を守るため、地域で支援しましょう。
- ・ 地域行事に子どもが参加する機会を増やし、子どもが地域のことを学べるようにしましょう。
- ・ 民生児童委員や社会福祉協議会、行政機関等が連携し、困りごとを抱える子どもや子育て家庭を支援しましょう。

行政の
取組

妊娠前から育児期、青年期に至るまで、切れ目のない支援を推進します。

- ・ 妊娠・出産や育児の悩みや不安を解消するため、気軽に相談できる場や、同じ悩みを持つ親・気持ちがわかりあえる者同士の集まりの場を提供します。
- ・ 地域の子育て支援を推進するネットワーク機能を強化します。

健康長寿



左京さくらちゃん体操ひろば



左京健康フェスタ



左京健康かるた

今後の方向性

- 地域や人とのつながりの中で、運動などを通じてあらゆる世代の区民がライフステージに応じて楽しみながら取り組める、区民が主役の健康づくりを進める。
- 生涯を通じて健康で心豊かに暮らせるよう健康寿命の延伸を目標に、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病といった生活習慣病の予防に取り組むとともに、区民の主体的な健康づくり、介護予防、フレイル予防を支える環境づくりに取り組む。
- 「人生100年時代」を迎え、認知症や一人暮らしの高齢者をはじめ、支援を必要とする人が住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられるよう、関係団体との協働により、地域における「気づき、つなぎ、支える」力を高め、地域包括ケアシステムを推進する。
- 8050問題、ひきこもり等複合的な課題を抱える世帯の地域からの孤立の解消・防止に向け、一元化されたひきこもり相談窓口、区役所保健福祉センターが関係機関と連携して、当該世帯に寄り添った支援を行う。

区民の取組

楽しみながら生涯を通じて健康づくりに取り組みましょう。

- ・運動・栄養・健康診査等で生活習慣病の予防に取り組み、仲間づくりや社会活動の場へ積極的に参加して、心身の機能の維持増進に努めましょう。
- ・地域の見守りや支え合いにより、高齢者やその家族をはじめ、区民みんなが安心して暮らせる地域づくりに努めましょう。

協働の取組

地域で顔の見える関係づくりを進めましょう。

- ・行政、民生児童委員、老人福祉員、社会福祉協議会、医療機関、介護施設等が連携し、左京区地域福祉推進委員会をはじめとした協働の仕組みを生かして、顔の見える関係づくりと地域で高齢者の生活を支援する体制を整えましょう。
- ・地域の伝統行事などをきっかけに高齢世代と子ども世代の交流を進めましょう。

行政の取組

健康づくりの機運を高め、区民が主役の「健康長寿のまち・左京」を目指します。

- ・新型コロナウイルス感染症など区民の生命や健康を脅かす状況に対応した正しい知識の普及啓発を図ります。
- ・地域の中で、市民や関係機関・団体等が周りの区民に健康づくりを働きかけ、主体的に健康づくりの取組の輪を広げていく地域づくりを目指します。
- ・健康に問題を抱えていても自分で解決できない方や支援制度のはざまの方、地域から孤立しがちな方々に寄り添った支援を行います。
- ・災害時の健康二次被害に対する対策を講じます。

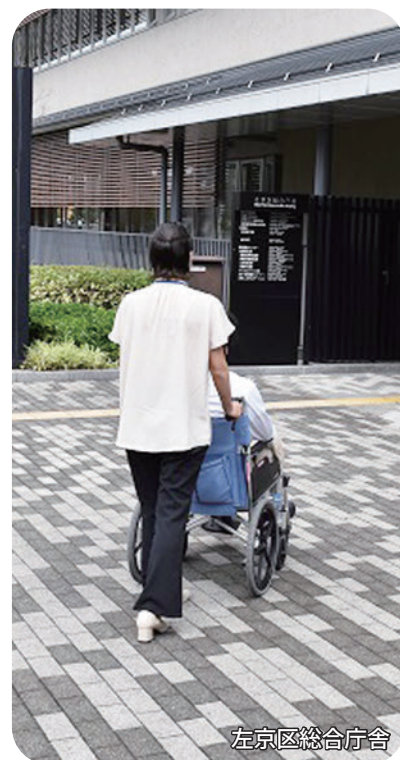
障害者福祉



左京はあとふるコーナー



心ときめき芸術祭



左京区総合庁舎

今後の方向性

- 地域の中で正しい知識と理解が深められるように、普及啓発をさらに進めるとともに、交流活動などの取組を積極的に支援する。
- 障害のある人もない人も、すべての人が違いを認め合い、支えあう地域社会づくりのため、ネットワーク（北部障害者自立支援協議会・左京こころのふれあいネットワーク）の活動を進めていく。
- 支援を必要とする方とご家族のニーズに早期に気づき、地域で安心して健やかに暮らしていくため、地域・区役所・医療機関・福祉関係事業所が連携を深め、切れ目のない支援につなげていく。

区民の取組

地域で福祉に取り組む意識を受け継ぎましょう。

- 地域で福祉に取り組む意識を受け継ぎ、障害のある人もない人も、健やかに暮らせるよう、地域の支え合いを進めましょう。

協働の取組

地域でいきいきと健やかに暮らせるよう交流しましょう。

- 社会福祉協議会を核としながら、区内にある福祉事業者等が連携し、障害のある人もない人も、すべての人がいきいきと地域で働き、健やかに暮らせるよう、お互いの交流を深めましょう。

行政の取組

地域のネットワークづくりを推進します。

- 「重複障害」やいわゆる「はざま[※]」、「重度障害」など、複合的な課題を抱えている人が、社会から孤立せず、必要な支援を得られるよう、行政と関係機関の連携を強化していきます。

※ 3障害（身体、知的、精神）の施策のはざま（高次脳機能障害、発達障害等）や、ライフステージの変化の際の施策のはざま（障害児施策から障害者施策への切れ目のない移行等）

地域コミュニティ・安心安全



今後の方向性

- 区民や様々な団体が地域活動に参加しやすくなるきっかけづくりや、住民相互のつながり（顔の見える関係）の大切さ、新型コロナウイルス等感染予防策を講じた地域活動について、情報発信や取組の支援を行う。
- 世代間や地域間の連携により、地域のまちづくりの担い手の育成や、活動の維持・活性化を図る。
- 地域（各種団体、教育施設、事業所など）と行政（区役所、警察署、消防署など）の連携をより一層強固なものとし、安心安全なまちづくりを進める。特に自転車盗対策について積極的に実施を図る。

区民の取組

互いを認め合い、交流を深め、地域活動への参加を呼びかけましょう。

- ・ 左京区に古くから住んでいる人、新しく転居してきた人、外国から来た人など、左京区に住むすべての人がお互いを認め合いながら、助け合い、交流を深めましょう。
- ・ 地域コミュニティへの参加を呼びかけるとともに、若い世代の人、転入してきた人、集合住宅に住む人も気軽に参加できる工夫を考えましょう。
- ・ 左京区の特性を踏まえ、誰でも取り組めるような身近な活動を更に展開するとともに、地域での情報共有を進めましょう。

協働の取組

地域の団体との連携により、地域活動の輪を広げましょう。

- ・ ICT ツールを活用した地域コミュニティの維持・活性化に取り組みましょう。
- ・ スポーツ、福祉、教育などの地域の活動の輪を更に広げましょう。
- ・ 地域の連携を深め、防犯・交通事故防止・防災に取り組みましょう。
- ・ 子どもや高齢者を含めてお互いを支える仕組みづくりを進めましょう。

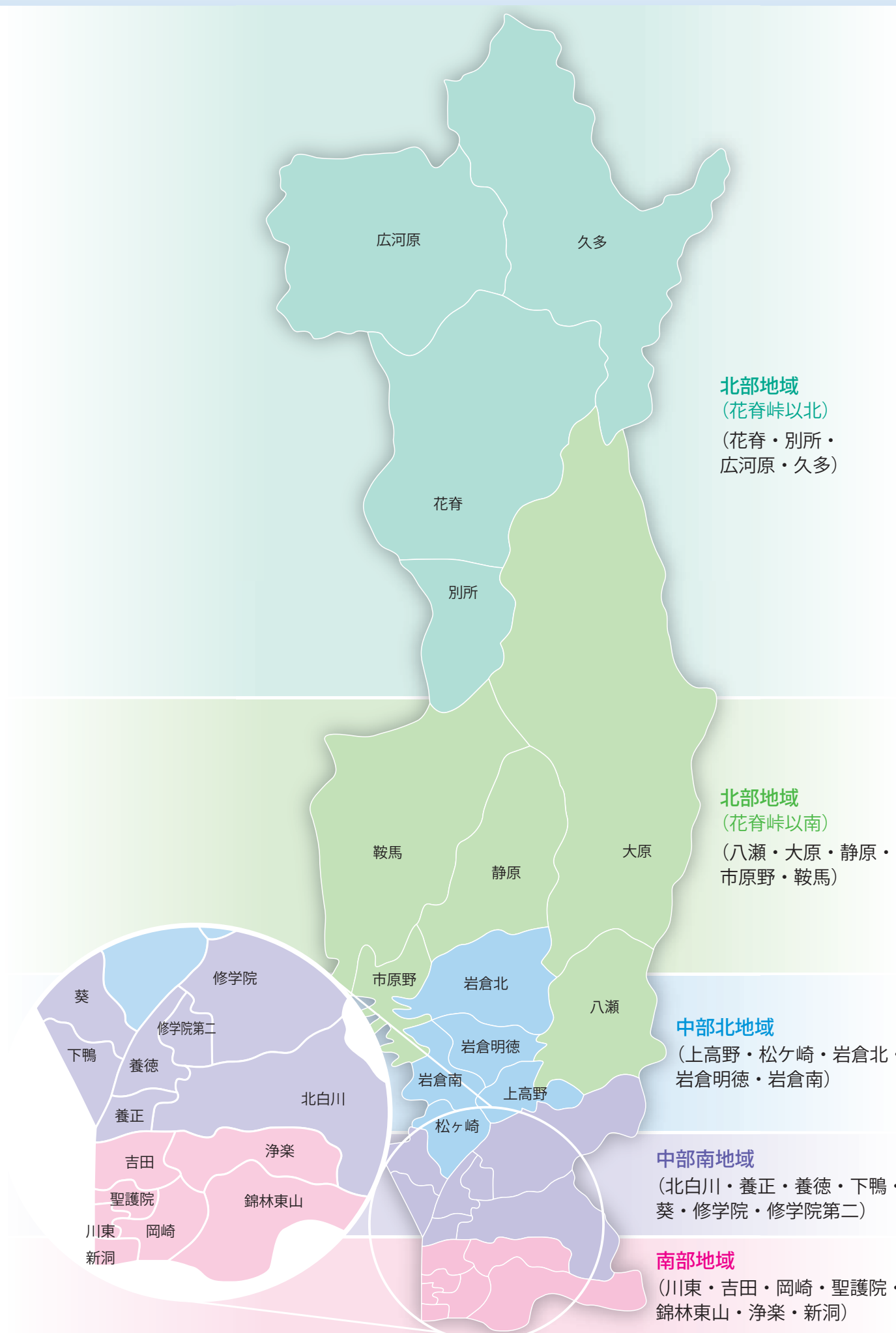
行政の取組

地域間の交流と情報の共有を支援します。

- ・ 市民しんぶんやホームページでの地域活動等についての情報を充実させるなど、活動をしたと思っている人が活動に加わり、活動の輪が広がるよう支援します。
- ・ 北部地域の施設との連携により、自然の魅力や課題等を共有し、交流できる機会を提供します。
- ・ 地域間の連携を深め、情報の共有ができるよう、広報の充実を図ります。
- ・ 区内に暮らす外国籍市民等との文化交流を図ります。

地域別の現状と課題，方向性

	現状	課題	方向性
北部地域 (花脊峠以北) (花脊・別所・ 広河原・久多)	- 豊かな自然，民俗芸能や伝統行事が多く，魅力にあふれている。 - 交流拠点や農家民宿など，北部の魅力を感じられる取組が進んでいる。	- 人口減少や少子高齢化が急速に進み，過疎化で維持が危ぶまれる集落も出てきている。 - 次代の担い手不足のため，これまで継承されてきた文化が失われ始めている。 - 山林の管理が追いつかず，気候変動等による台風・大雨等の自然災害被害が拡大している。	中南部地域との交流を進め，定住者の増加を図りながら，美しい自然環境，農林業，伝統文化を守り育て，未来へ継承することを目指します。
北部地域 (花脊峠以南) (八瀬・大原・静原・ 市原野・鞍馬)			自然を守りながら，若者や観光客にも地域の素晴らしさをアピールし，できるだけ多くの新しい住民を迎えて活気があるまちづくりを進めていきます。
中部北地域 (上高野・松ヶ崎・ 岩倉北・岩倉明德・ 岩倉南)	- 豊かな文教地区であり，多様な自然や地域資源，商店等があり，住環境に恵まれている。 - 人口増加が進んでいる地域もあり，活気がある。	- 地域コミュニティのつながりが薄くなっており，地域課題への対応が困難になっている。 - 新規住民が増加しており，旧住民との対立や，歴史・文化の継承などの問題がある。	文教施設や福祉施設も多く，区民の交流拠点ともなる左京区総合庁舎などとも連携を深めながら，ぬくもりのあるすこやかなまちづくりを進めます。
中部南地域 (北白川・養正・養徳・ 下鴨・葵・修学院・ 修学院第二)			地域住民が協力し，誰もが気持ち良く行き交える美しいまちづくり，伝統行事の活性化などに取り組み，誰もが住み続けたいと愛着を感じられるまちを目指します。
南部地域 (川東・吉田・岡崎・ 聖護院・錦林東山・ 浄楽・新洞)	- 鴨川や吉田山があり，古くからの神社仏閣があるなど，まちなかでありながら自然や歴史にあふれた環境が整っている。 - 教育機関や文化・学術機関が集積しており，交通利便性がよく，生活しやすい。	- 高齢者が増加しており，独居世帯が増えたり，買い物難民が増えている。 - 観光客の増加等により，観光課題や交通の問題への懸念がある。	まちを美しくし，地域の魅力を更に高めながら，地域で暮らす人や訪れる人たちが積極的に触れ合い，交流を深め，共生できる関係づくりを進めます。



各学区の人

学区名	面積 (km ²)	世帯数 (世帯) H27.10.1	H27.10.1
花脊・別所	39.277	107	244
広河原	26.252	41	97
久多	34.213	41	84
北部地域 (花脊峠以北) 計	99.742	189	425
八瀬	9.882	816	1,801
大原	50.599	603	2,110
静原・市原野	16.217	2,530	6,488
鞍馬	24.332	212	548
北部地域 (花脊峠以南) 計	101.030	4,161	10,947
上高野	2.432	3,021	7,014
松ヶ崎	2.441	4,270	8,455
岩倉北	10.023	2,344	6,033
岩倉明德	1.545	4,117	10,692
岩倉南	2.457	4,752	11,671
中部北地域計	18.898	18,504	43,865
北白川	5.732	5,976	10,364
養正	0.632	5,225	7,758
養徳	0.925	8,614	14,988
下鴨	0.922	3,666	8,122
葵	1.615	5,350	11,322
修学院	7.455	7,385	15,642
修学院第二	0.668	5,903	10,291
中部南地域計	17.949	42,119	78,487
川東	0.194	1,339	2,716
吉田	1.021	4,878	8,983
岡崎	1.033	2,847	5,659
聖護院	0.450	2,403	4,094
錦林東山	4.421	1,709	3,465
浄楽	1.880	3,508	6,708
新洞	0.293	1,766	2,917
南部地域計	9.292	18,450	34,542
左京区合計	246.770	83,423	168,266

※記載されている各学区の面積は、総務省統計局「地図で見る統計値」であり、左京区全体の面積（国土交通省国土地理院「平成 29 年

口等の状況

人口(人)		年齢3区分別人口(%)※ H27.10.1		
H22.10.1	増減(%)	15歳未満	15~64歳	65歳以上
280	△12.9%	10.4	33.3	56.3
108	△10.2%	24.7	36.1	39.2
100	△16.0%	10.7	38.1	51.2
488	△12.9%	13.8	34.9	51.3
1,870	△3.7%	9.1	58.0	32.9
2,335	△9.6%	5.3	36.8	57.9
6,453	+0.5%	11.0	57.5	31.5
592	△7.4%	7.3	50.7	41.9
11,250	△2.7%	9.4	53.1	37.5
7,057	△0.6%	12.6	61.9	25.5
8,320	+1.6%	11.7	67.2	21.1
27,112	+4.7%	13.5	52.9	33.6
		14.2	56.5	29.3
		18.6	63.1	18.3
42,489	+3.2%	14.6	60.6	24.8
10,431	△0.6%	8.6	65.2	26.1
7,847	△1.1%	5.4	71.0	23.6
14,942	+0.3%	8.4	66.7	24.9
8,283	△1.9%	11.1	59.5	29.4
11,322	+0.0%	10.1	60.6	29.3
15,894	△1.6%	10.8	61.8	27.5
10,442	△1.4%	10.3	68.8	20.9
79,161	△0.9%	9.4	64.5	26.1
2,804	△3.1%	7.7	71.7	20.6
9,081	△1.1%	9.1	66.4	24.5
5,735	△1.3%	10.9	59.2	30.0
4,106	△0.3%	9.6	64.6	25.8
3,639	△4.8%	8.6	55.4	36.0
7,083	△5.3%	8.3	59.9	31.8
2,966	△1.7%	6.9	66.9	26.1
35,414	△2.5%	9.0	63.0	28.0
168,802	△0.3%	10.7	62.4	26.9

(JSTAT MAP)」に登録されている境界データから算出された
 全国都道府県市区町村別面積調」とは一致しません。

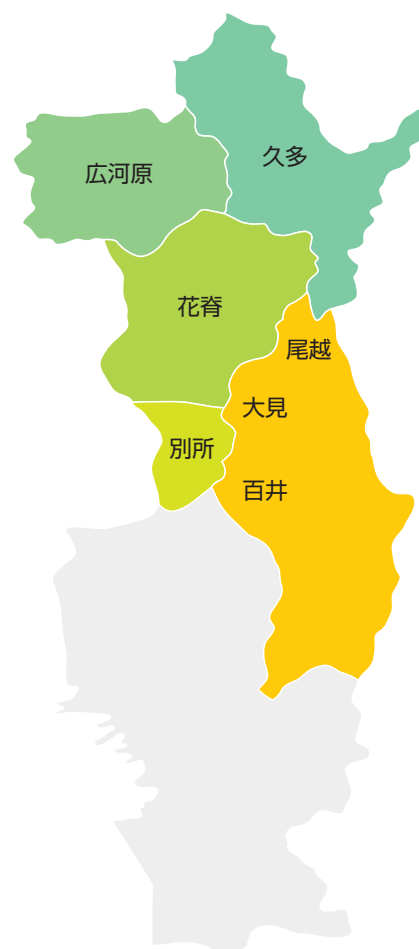


左京北部山間地域の 現状と課題,方向性

左京北部山間地域は、過疎化で維持が危ぶまれる集落もあり、文化の継承や山林の管理も難しくなるなど、課題が深刻であるため、関係機関や専門家等と連携し、その課題や方向性について更なる検討を進めます。北部地域の豊かな自然や伝統文化は区民共通の資産であり、中南部地域との交流や幅広い世代の連携が重要です。住環境や産業振興、保健・福祉や子育て・教育環境、都市基盤整備等についてICTの活用なども考慮しながら検討します。

対象地域

平成元年当時、本市基本計画で「自然産業振興地帯」と位置付けられ、京都市経済局が策定した「「ふるさと森都市」の地域づくり」（左京区北部農林業地域振興構想）の対象地域は、花脊峠以北の花脊、別所、広河原、久多、百井、大見、尾越の7地区である。ただし、大見、尾越には、現在、自治振興会はなく、現住している人もわずかである。



現状

- 左京区最北部に位置し、豊かな緑ときれいな水に恵まれた地域。山里の生活文化と信仰が今もなお残っている。
- 重要無形民俗文化財に指定されている「久多の花笠踊」をはじめ、各地域で行われている愛宕信仰からきている「松上げ」など、伝統文化が継承されている。
- 山村都市交流の森、花背山の家の整備や農家民宿の営業、また、花脊の三本杉、京都丹波高原国定公園など高いポテンシャルを持っている地域である。

課題

- 世帯数、人口総数とも減少傾向に歯止めがかからず、集落としての機能を維持することが限界に近付つつある集落が生じている。
- 農林業や伝統文化の担い手不足や高齢化により存亡の危機にある。特に花脊、別所、久多、百井の高齢者率が50%を超えている。
- 気候変動による台風・大雨等の自然災害の被害が拡大している。

年齢3区分(27調査)

学区	15歳未満	15から64歳	65歳以上
花脊・別所	10.4%	33.3%	56.3%
広河原	24.7%	36.1%	39.2%
久多	10.7%	38.1%	51.2%
大原(百井)	0.0%	28.0%	72.0%
合計	13.8%	34.9%	51.3%

世帯と人口の推移

学区	世帯数				人口総数			
	17 調査	22 調査	27 調査	2 推計	17 調査	22 調査	27 調査	2 推計
花脊・別所	142	125	107	97	332	280	244	210
広河原	44	47	41	42	116	108	97	114
久多	57	51	41	35	117	100	84	75
大原(百井)	19	14	14	-	36	26	25	-
合計	262	237	203	174	601	514	450	399

※ 2 推計については、大原（百井）の数値発表なし。

方向性

- 自然環境の保全と地域の活性化の調和を図り、現在の住民が安心して住み続けられる環境づくりを行う。
- 農を活かした魅力創造を図り、定住者の増加を図るとともに、農林業と伝統文化の次代の担い手づくりを行う。
- 道路改良など交通手段の確保と都市基盤の整備を進める。



山村都市交流の森



花背山の家



左京キラリ市



ふるさと森都市フェスティバル



チマキザサ再生プロジェクト

計画策定の経過

計画を策定するに当たっては、左京区の将来について区民の皆様と共に考え、共に計画を作り上げていくため、各学区の市政協力委員連絡協議会会長の皆様とのワークショップや自治連合会会長等への説明会、学識経験者や地域で活動されている方等で構成する「京都市次代の左京まちづくり会議」での議論を重ねてきました。また、広く区民の皆様から意見をいただくため、意見募集を実施しました。

1 京都市次代の左京まちづくり会議

京都市次代の左京まちづくり会議は、学識経験者や地域で活動されている方等の18名で構成する計画の策定委員会です。平成21年6月30日に第1回を開催し、以来、主に左京区の魅力と課題やまちづくりの取組指針について協議してきました。

今回の計画策定に当たっては、各年の事業の確認や、第2期基本計画の進捗状況について確認を行いながら、平成30年度から議論を進めてきました。

▼第26回(平成30年6月25日)

- ・次期・左京区基本計画の策定に向けて

▼第27回(平成30年11月20日)

- ・左京はあとふるプラン(左京区基本計画第2期)の最終点検(総括)(案)について

▼第28回(平成31年3月18日)

- ・「左京はあとふるプラン(左京区基本計画第2期)」の総括(素案)について

▼第29回(令和元年9月3日)

- ・「左京はあとふるプラン(左京区基本計画第2期)」の総括及び次期区基本計画策定について

▼第30回(令和元年12月19日)

- ・次期左京区基本計画素案について

▼第31回(令和2年3月10日)

- ・左京区基本計画(第3期)素案について

▼第32回(令和2年9月18日)

- ・左京区基本計画(第3期)骨子案について

▼第33回(令和2年12月17日)

- ・第3期左京区基本計画(案)について
- ・第3期左京区基本計画(案)概要版・意見募集冊子案について

▼第34回(令和3年6月28日)

- ・第3期左京区基本計画意見募集の結果について
- ・第3期左京区基本計画(案)について

●令和3年「京都市次代の左京まちづくり会議」委員

(五十音順, 敬称略, 役職は令和3年3月末現在)

氏名	役職等
新井 雅博	岡崎中学校PTA会長
井口 陽渚	市民公募委員
岡本弥一郎	左京区民生児童委員会会長
○川勝 健志	京都府立大学副学長
岸野 亮淳	左京区社会福祉協議会副会長
古村 清	左京区市政協力委員連絡協議会会長 中部北ブロック世話人
笹岡 隆甫	華道「未生流笹岡」家元
杉山 準	NPO法人劇研理事長
鈴鹿可奈子	株式会社聖護院八ッ橋総本店専務取締役

氏名	役職等
鈴木 暁子	京都府立大学京都地域未来創造センター 上席研究員
鈴木千鶴子	元京都市教育委員会委員
中野 三郎	左京北部山間地域自治連絡協議会会長
中村 行則	一般社団法人京都中小企業家同友会 左京支部地域連携部門
長谷川 綏二	ボーイスカウト京都連盟 北星地区協議会会長
廣瀬 昌代	キッズファームin京都大原代表
藤田志真子	市民公募委員
◎宗田 好史	京都府立大学教授
山崎 陽子	左京保健協議会連合会会長

〔◎は座長, ○は副座長〕

●平成30～令和2年の前委員等

(五十音順, 敬称略, 役職は当時のもの)

氏名	役職等	氏名	役職等
北村 昌子	近衛中学校PTA会長	こじまいづみ	ミュージシャン
木下美智子	洛北中学校PTA会長	深町加津枝	京都大学大学院地球環境学堂准教授
京極 康生	まっちゃきねっとわーく 副会長	水口 小園	煎茶道方円流家元嗣
島 浩之	左京区市政協力委員連絡協議会会長 中部北ブロック世話人	三保 俊幸	市民公募委員
島内 梨佐	市民公募委員	矢野 武也	左京区民生児童委員会会長
土井 健資	株式会社土井志ば漬本舗 代表取締役社長	山本 壽典	株式会社大原アグリビジネス 21 代表取締役社長
		池内 正貢	左京区長(～令和2年度)

2 計画策定に向けた意見募集

皆様から御意見をいただくため、計画素案作成に向けた意見募集を実施しました。

募集に当たっては、意見募集用冊子の配架や左京区ホームページに掲載するとともに、各学区の市政協力委員連絡協議会、自治連合会及び各種団体等の協力を得て、広く区民の皆様から御意見をいただけるように実施しました。

▼意見募集の結果

- 募集期間：
令和3年3月24日から同4月24日
- 意見総数：
263件(93名)

項 目	件数
計画の目指すところや基本姿勢・要素について	65
[目標1], [目標2], [目標3] のそれぞれの取組について	82
この先5年の左京区のまちづくりの中で、もっと良くなってほしいことや関わっていききたいこと	57
その他, 計画全般について	59
合 計	263

計画の推進に向けて

1 区民と行政・事業者・大学等との協働による取組

左京区基本計画(第3期)は、第2期計画を踏襲し、市や区が実施する事業だけではなく、区民の皆様一人ひとりが心がけていただきたいことや、区民の皆様と行政・事業者・大学等が共同で実施する取組項目を掲げています。

2 計画の進ちょく状況の管理

計画の進ちょく状況の管理については、毎年度開催する「次代の左京まちづくり会議」において、状況の報告・確認を行い、計画に則した目標が具体的に達成できるよう議論を重ね、検証を行っていきます。また、左京区北部山間地域については京都市次代の左京まちづくり会議の下に部会を設置し、その課題や方向性について更なる検討を進めます。



左京区

左京区基本計画に関する
ホームページ

